



当院でのフットケアチームの活動について

フットケア外来

世界では、30秒に1本の足が、糖尿病が原因で切断されており、日本でも年間10000人以上が下肢切断を受けていると言われています。

糖尿病壊疽や、下肢閉塞性動脈硬化症による重症下肢虚血などにより、下腿部や大腿部での下肢大切断患者さんは、生命予後が悪く、下肢大切断を回避する事、つまり救肢する事は、救命のために非常に大切です。当院のフットケア外来では患者さんの救肢を目的とし、複数科、多職種でのチーム医療を実践しています。



- 左上から 整形外科医長 高嶋 / 循環器内科部長 茶谷 / 糖尿病内分泌内科医員 四方
糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士 若林 / リハビリテーション理学療法士 高木
- 中列 左から 皮膚科部長 崎田 / 糖尿病内分泌内科部長 伊藤 / 医療福祉支援センター 日本糖尿病療養指導士 平能
管理栄養士 日本糖尿病療養指導士 澤田
- 左下から 透析部門看護師長 水野 / 弾性ストッキング圧迫療法コンダクター 永石
日本フットケア足病学会公認のフットケア指導士 慢性腎臓病療養指導看護師 吉田
皮膚、排泄ケア認定看護師 近村 / 医事課 櫻田

糖尿病足病変に対する予防的なフットケア

フットケア外来では、糖尿病患者さんの足を守ることを目的として、フットケア指導士が中心となり予防的なケアを行っています。足の状態を観察し、足のケア方法、必要な方には爪のケアなどを行い、足病変の早期発見、援助をしています。患者さんとの話を通して生活に合わせた指導・サポートをできるように心がけています。

透析患者さんに対する予防的なフットケア

透析室では、下肢末梢動脈指導管理加算が導入となり、月1回、足病変の予防と異常の早期発見のため、患者さんに合わせたフットケア・セルフケア方法を指導しています。足や爪を健康に保つことは、転倒や歩行困難などを予防し、自分の足で歩けることはQOLを保つことに繋がります。また、閉塞性動脈硬化症患者の難治性潰瘍の治療に、LDL吸着療法といわれる血液浄化療法を開始し血液循環の改善に取り組んでいます。



下肢血管病変に対するフットケア、診断、治療

糖尿病や透析患者さんは、動脈硬化が進行しやすく、下肢閉塞性動脈硬化症の併存率が非常に高いのですが、下肢冷感やしびれ、間欠性跛行、疼痛などを自覚しない無症状な方が多いといわれています。潜在的な下肢閉塞性動脈硬化症を迅速に診断、治療することが救肢につながります。フットケア外来では来院当日にABIやSPP検査、下肢動脈エコーや下肢造影CTにより下肢動脈血流および下肢閉塞性動脈硬化症の病変部位の評価をし、カテーテル専門医により、カテーテル治療を施行します。

下肢静脈瘤は、下肢のこむら返り、痛み、むくみ、かゆみなどさまざまな症状を自覚し、下腿部の色素沈着、下腿部の潰瘍なども出現します。下肢静脈エコーなどで診断した上で、弾性ストッキング圧迫療法コンダクターにより、圧迫療法を行い、適応があれば、形成外科医師により、血管内焼灼術や瘤切除術などを施行します。

創傷に対するフットケア、フットウェア作成

足に傷があるときは、まず、清潔にすることが重要となります。傷の部分だけでなく足全体を洗います。洗浄後は水分を押しさえ拭きをして、足部に手をあて熱感や冷感を確認します。指示された外用剤や保湿剤を塗布し皮膚を保護します。また、傷の悪化予防や荷重をかけないよう傷を浮かせる方法があります。医療的フットウェアとして①サージカルシュー②医療用フェルトがあります。いずれも予防的・治療的用具・再発防止として局所の圧を分散させる効果があります。本人や家族、関係する多くの医療者と共に考えていきます。

尚、義肢装具士によるフットウェアの作成は第4月曜午後に施行しております。



当院のフットケア外来は月曜日の午後(初診)、木曜日の午後(再診)の予約制となっております。フットケア外来受診希望の際は、当院医療福祉支援センター(TEL:076-437-1120)もしくは内科外来にお問い合わせ下さい。

文責：茶谷、永石、吉田、近村



新任医師のご紹介



内科

ふくい やすたか
福井 康貴



【出身大学】富山大学
【経験年数】15年目
【専門分野】循環器内科
【出身地】愛知県
【座右の銘】一生懸命
【趣味】筋トレ

【開業医さんへのメッセージ】

ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

内科

むらい さやか
村井 沙耶佳



【出身大学】富山大学
【経験年数】6年目
【専門分野】腎臓
【出身地】富山県
【座右の銘】初心忘るべからず
【趣味】水泳、スポーツ観戦
【開業医さんへのメッセージ】

初めて病院で勤務させていただきました。
不慣れな点が多いですが、少しでもお役に立てるよう精一杯
努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

内科

たかはし なおき
高橋 直希



【出身大学】富山大学
【経験年数】5年目
【専門分野】消化器内科
【出身地】砺波市
【座右の銘】一日一善
【趣味】ランニング、ゲーム

【開業医さんへのメッセージ】

丁寧な診療を心がけていきます。よろしくお願いいたします。

内科

いしくろ ちさと
石黒 千里



【出身大学】富山大学
【経験年数】4年目
【専門分野】血液内科
【出身地】金沢市
【座右の銘】謹厳実直
【趣味】食べること
【開業医さんへのメッセージ】

地域へ貢献できるよう精一杯頑張りたいと思います。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

外科

とうかい りゅうたろう
東海 竜太郎



【出身大学】昭和大学
【経験年数】7年目
【専門分野】消化器外科、内視鏡外科
【出身地】氷見市
【座右の銘】夢そして努力
【趣味】手術

【開業医さんへのメッセージ】

地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります！

歯科口腔外科

ふじき みつな
藤木 充那



【出身大学】新潟大学【経験年数】6年目
【専門分野】歯科口腔外科
【出身地】朝日町
【座右の銘】失敗は成功のもと
【趣味】旅行
【開業医さんへのメッセージ】

地域の皆様に安心安全な医療を提供できるよう、丁寧な診
療を心がけます。まだまだ若輩者で日々勉強させていただく
身ではありますが、一日でも早く頼れる歯科医師になれるよ
う精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

臨床研修医

ヤン ウチヨル
梁 宇哲



【出身大学】東京医科大学
【出身地】東京
【座右の銘】千里の道も一歩から
【趣味】バスケットボール
【開業医さんへのメッセージ】

よろしくお願いいたします。

臨床研修医

ねもと たくみ
根本 卓実



【出身大学】富山大学
【出身地】東京
【座右の銘】ケセラセラ
【趣味】映画鑑賞
【開業医さんへのメッセージ】

内科志望として地域医療についてご指導、ご鞭撻いただき
たいと思います。

紹介状をお持ちになった患者さんの受付時間変更のお知らせ

令和4年5月9日(月)より紹介状受付窓口は**8時30分開始**となります。ご了承ください。

医療福祉支援センター

当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

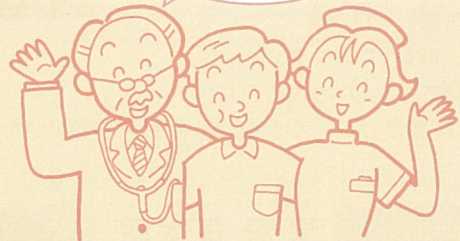
検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00～11:30 13:30～16:30	月 14:00～15:00 火 14:00～14:30
RI	8:30～11:30 13:30～16:30	水 14:00～15:00 木 14:00～14:30
MRI	13:30～16:30	金 14:00～15:00

※造影検査に限り、水曜日は予約不可となりますので、ご了承ください。

検査予約枠を拡大しました。お電話お待ちしております。



富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

行動指針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- プライバシーが守られる権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 療養に専念する責務
- 医療費を支払う責務
- 診療行為に協力する責務
- マナーや規則を守る責務